

人それぞれに 青春の熱い想い



ロブ・ロウ

デミムーア

エミリオ・エステベス

アリー・シーディ

ジャッド・ネルソン

ミア・ウイニングガム

アンドリュー・マッカーシー

セント・エルモス・ファイアー

映画、そしてテーマ曲も、すべての若者たちの心をとらえて 全米で大ヒット！
光輝く7人の炎は、今を生きる世界の青春に 火をともしはじめた。

シャネル＝ローレン・シュラー・プロダクション ジョエル・シュマツチャー・フィルム
"ST. ELMO'S FIRE"

共演 マーティン・バルサム アンディ・マクダウェル

音楽総監督 デイビッド・フォスター 編集 リチャード・マークス

撮影 スティーブン・H・ブラム、A.S.C. 製作総指揮 ネッド・タネン & バーナード・シュワルツ

脚本 ジョエル・シュマツチャー & カール・カーランダー 製作 ローレン・シュラー

監督 ジョエル・シュマツチャー

DELPHI

オリジナルサウンドトラック/ワーナー・ミュージック 主題歌「セント・エルモス・ファイアー」(ジャンパー) キュリーレコード=日本フォノグラム



© 1985 Columbia Pictures Industries, Inc.
All Rights Reserved.

ST. ELMO'S FIRE

♪全米のヤング達の熱い支持を受けて大ヒット!
そして、テーマ曲(ジョン・バー)も日本での映画公開に
先がけて、洋楽チャート堂々1位!

セント・エルモス・ファイアー

★あなた自身の《青春》にいま、火をともし'80年代
アメリカ青春映画の傑作!

大学を巣立ち、社会の大海に乗り出した7
人の若者たち。しかし、待ち受けていた社会
の荒波は、7人のひとりひとりを容赦なく翻
弄する。消えては生まれ、生まれては消える
愛と憎しみ、野望と挫折——若者たちは失わ
れた友情と信頼を回復すべく必死の模索をは
かるが……

原題の“St. Elmo's Fire”とは、荒海に方
向を見失った水夫たちを導く伝説の守護神の
こと。社会人1年という人生の岐路にたった
彼らを水夫にみたと、彼らの欲びと哀しみを、
鮮烈なエピソードで綴った'80年代アメリカ青
春映画の傑作である。

★フラワー・チルドレン、アメ・グラ族、Y・A。
ヤッピー……そしていま、《ブラット・バック》
時代の到来!

'70年代以降もアメリカ映画界は、その時の
《今》を反映した青春の数々を描いてきた。
「イージー・ライダー」「卒業」「ある愛の詩」
「アメリカン・グラフィティ」……

そしてこれらの映画をとりまく状況から「フ
ラワー・チルドレン」「アメ・グラ族」など若
者たちを総称する言葉も生まれてきた。

'80年代も後半に入り、新しいニューリーダ
ーをめざすハリウッドの才能あるヤング・ガ
イたちは“ブラット・バック”と呼ばれるグ
ループに成長した。彼らは“Y・A”の流行
語を生んだ「アウトサイダー」はじめ、「卒業
白書」「フットルース」などに次々と出演。い
ずれも大ヒットを飛ばした。この「セント・
エルモス・ファイアー」は彼らの代表作である。
“ヤッピー”も使い古されたアメリカではい
ま、自分が生きる世界での“ブラット・バッ
ク”になることが若者たちのステイタスとな
っている。(雑誌ニューヨーク・マガジン 85
年6月10日号の特集より。)



アメリカ映画界のY・Aニューリーダーたち、
《ブラット・バック》一挙登場!

★ロブ・ロウ(ヒラリー)
常に中間に迷惑をかけ続けてきた、グルー
プの落ちこぼれ。サクソフォンを片手に一流
ミュージシャンをめざす。

★エミリオ・エステベス(カーボ)
大学時代の同窓、年上の美女テールに激し
い片想いを抱く弁護士志願。

★アンドリュース・マッカーシー(ケビン)
グループでも醒めた奴と見られていたが、
レスリーに一途な愛を打ち明ける。シニカル
な新聞記者の卵。

★ジャド・ネルソン(アレック)
7人の中では最もヤリ手。しかし、グルー
プのトラブルを一手にひきうけるナイス・ガ
イ。政治家への野心をたぎらせる。

★アリー・シーティ(レスリー)
考えも行動もスタイリッシュ。建築の世界
でキャリア・ウーマンをめざす。

★デミ・ムーア(ジュールス)
仲間たちの心配をよそに、勤め先の銀行の
妻子持ち上司と危険な恋に落ちるフリーキー
・ガール。

★メア・ウィンガム(ウエンティ)
ソシアル・ワーカーとして活躍。
3人の女の子の中で一番のオクテながら、
初恋の人ヒラリーへの熱い想いを貫く。

特別鑑賞券絶賛発売中!

新春第2弾! ロードショー

一般¥1,200(当日¥1,500の処)
学生¥1,100(当日大高生¥1,300・中学¥1,200の処)

有楽町駅前・そごう側・有楽町ビル内

有楽町スバル座

03
(212)
2826

平日	12:00	2:15	4:30	6:45
日・祝	11:30	1:45	4:00	6:15